



かがやけ！海田南っ子

No.2(4月臨時号)

～卯月～
April

令和3年4月21日

海田町立海田南小学校

海田町大立町12番5号

TEL 822-6776 FAX 822-3229

E-mail : kaitaminami-es01@kaitaminami-e.ed.jp



URL : <https://kaitaminami.wordpress.com/>



海田南小学校

検索

授業参観、ありがとうございました

1日に3回の参観授業は初めての取組でしたが、たくさんの保護者の皆様にお子様の頑張る姿を御覧いただくことができ、ほっとしています。

子供たちからは「おうちの人に誉めてもらったよ」「今日の勉強、おもしろかったね」など、御家庭で参観日をきっかけに楽しいやりとりがあったことを聞きました。

お忙しい中、授業参観においでいただき、ありがとうございました。



学校経営計画をつくりました

海田町では町内6小中学校が2グループに分かれ、小中9年間を見通した教育を行います。

南小は海田中、海田東小と一緒に「海田中学校区」として同じ学校教育目標で取り組んでいます。

今年度、南小はめざす児童の姿を「進んで学ぶ子」「気づかいをする子」「認め合う子」としました。毎日の学校生活の中で、児童が自分から考え実践するように導き、考え実践したことを価値付け、立派な小学生にしたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

令和3年度 海田南小学校 学校経営計画 学校教育目標 考え 実践する 海田南っ子

めざす学校…行きたい、行かせたい、協力したい学校、 ずっと働きたい学校

- めざす児童…◆**進んで学ぶ子**………知っていることや教わったことを目の前の問題に当てはめ、表現する。
分からないことをそのままにせず、教わったことを自分で確かめる。
- ◆**気づかいをする子**…進んで挨拶をする。他者を思いやる言動をする。
自分や大事な人の命を守るために行動する。
- ◆**認め合う子**………自分や友だちの良いところが言える。
自分の好きなこと得意なこと、こんな配慮があれば苦手なことでもできると言える

確かな学力	健やかな体	自律した心	信頼される学校
<ul style="list-style-type: none"> 学習規律の徹底 学力調査等を活用した実態把握と組織的な指導改善 日々の授業改善と研修の充実 ドリルタイム改善による基礎学力の充実 タブレット等、ICTの効果的活用 表現活動・読書活動の推進 教科担任制・通級による指導の効果的な活用 教育課程の改善 	<ul style="list-style-type: none"> 体育科授業の改善 外遊びの充実 児童会活動や体育的行事と連動した体づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 組織的な生徒指導 挨拶日本一の取組 道徳教育・防災教育の充実 個に応じた多様な学びの場の活用 保護者・地域と協働した体験活動の充実 キャリア発達を促す働きかけ 	<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全な環境づくり 積極的な情報発信 迅速・丁寧・誠実な保護者・地域対応 不祥事0

幼保小連携や特別支援教育の考え方を活かした多面的な児童理解、海田中学校区学校運営協議会との協働

- めざす教職員…◆職務に誇りをもち、あきらめない ◆学び方に注目し、小さな変化も見逃さない
◆先を見越して準備する ◆目的と状況に応じて合理的に行動する

働き方改革

- 海田版「学びの変革」推進事業
- 小学校低学年段階からの学び喜びサポート校事業
- 海田町グローバル人材育成事業
- 生徒指導サポート実践校
- 道徳教育推進拠点地域事業（連携校）
- 「心の元気」全町推進プロジェクト事業

4月30日（金）の遠足について



新型コロナの影響で2年ぶりの遠足です。

この遠足では体力向上、交通安全への意識を高めるとともに、異学年とも交流し、年下の子供を思いやる気持ち、年長の子供への憧れを育てたり、地域への愛着を深めたり…と児童にとって様々な「良いこと」を期待しています。

目的地には2学年ごとにペアになって向かいます。

- 1・6年生…石原公園・畝公園（瀬野川河川敷）
- 2・4年生…海田総合公園（東海田）
- 3・5年生…月が丘公園（安芸区矢野東）



帰りは、現地から学校に戻りながら流れ解散をします。現地出発時刻は3つの目的地とも13:30です。

持ち物、服装、雨天時のことなど、詳しくは後日、お配りするプリントでご確認ください。

緊急メール配信システムの登録はお済みですか

学校では、遠足中止連絡など、緊急時にメール配信で保護者の皆様に御連絡することがあります。このメール配信システムの登録締め切りは4月23日（金）です。まだお済みでない方は、急ぎ登録をお願いします。

「こどもの読書週間」「ファミ読」について

4月23日から5月12日までは「こどもの読書週間」です。「子供たちにもっと本を」の願いから始まった取組です。

小学生のときに身に付けた読書の習慣は学力の土台となり、生涯に渡って本に親しむ、豊かな生活のきっかけとなります。

南小ではご家庭で読書を楽しむ中で、児童に読書の習慣が身に付くよう、「ファミリー読書」を推奨しています。ぜひ、取り組んでみてください。

「ファミリー読書（ファミ読）」の勧め

- ◆ ファミ読をする曜日や時間を決めましょう。
- ◆ 読書スタイルを決めましょう。
 - 大人が読み聞かせる。
 - 子供が大人に読んで聞かせる。
 - 大人も子供もそれぞれが読む。
 - 1冊を順番に声を出して読む。
 - 同じ作者の本を読む。
- ◆ 読む本を決める。
- ◆ 感想を話し合う。

新型コロナウイルス感染症対策にご理解ご協力ください

県内では連日、2桁の発症者数が報道されており、先日、ステージ2に戻ってしまいました。

そこで、海田町教育委員会とも相談し、学校での対応を引き続き次のようにしたいと考えますのでご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

校内での感染症予防

マスク着用、手洗い、消毒、ソーシャルディスタンスの徹底

※ 予備のマスク、体育・外遊び時に外したマスクを入れる記名済みのビニール袋等を持たせてください。

※ 登下校・運動・食事中にマスクを外す場合は、ソーシャルディスタンスに一層配慮し、喋らないように指導しています。御家庭でも御指導ください。



風邪のような症状（発熱、咳、鼻水など）がある場合の早退・欠席

- ◆ 「新型コロナウイルス感染症ではない」という診断が出るまでは、症状のあるお子様だけでなく、兄弟姉妹も早退・欠席をお願いします。同居のご家族に風邪のような症状がある場合も同じ対応です。
- ◆ その場合の欠席は「出席停止（学校に登校しない日）」という扱いとし、病気での欠席とはいたしません。
- ◆ 症状のある方が「風邪」等、新型コロナウイルス感染症以外と診断されれば、症状のないお子様は登校させていただいて結構です。

PCR検査を受ける場合の連絡

- ◆ お子様はもちろん、同居のご家族についても、PCR検査を受ける場合は検査を受ける日時、結果が判明する日時を学校にお知らせください。
その場合、陰性が分かるまではお子様の登校は控えてください。
なお、お子様が濃厚接触者となった場合は2週間の出席停止となります。
- ◆ お子様を含めてご家族に何ら症状はないが、勤務先からの指示等で、「念のためのPCR検査」を受ける場合は登校させていただいて構いませんが、その場合も学校にご一報ください。
- ◆ 学校では風評被害を防ぐため情報の取扱いに十分注意しますが、お子様が同級生に「PCR検査を受けるんだよ」などと話して心配をかけることのないよう、御家庭でも必要な御指導をお願いいたします。

風評被害を心配しなくてよい
安心・安全な生活が早く戻りますように…。









📷 南小すなっぷ

学校生活の様々な場面で児童の様子をご紹介していきます。最初の紹介は5年生です。

4月16日 5年 算数科「直方体と立方体の体積」の授業から



この授業のねらいは、「これまで習った「長さ」や「面積」の比べ方を使って、「体積」を比べることができる」と気付かせることにあります。

-
-  長さ比べや面積比べではどのように表しましたか？
-  では、直方体や立方体の「かさ」はどのように表せばいいかな？
-  (1cm³のブロックを見せて)では、これを使って調べてみましょう。直方体と立方体の箱の中に、それぞれ何個のブロックが入るかな。
-  1cmや1cm³が何個分と表しました。
-  長さや面積と同じように1の何かを準備したらできるのではないかな。
-  よおし、やるぞ！
…なかなか大変だな。結構入るなあ…。
-  あ！ 全部数える必要はないんだ！
1段目のブロックの数を数えて、何段あるかをかけ算したら分かります！
-  ほんとだ！
これなら早い、間違えない。
違う大きさの直方体でも試したいな。

.....

児童は箱の中にブロック詰める作業を通して量感を養い、「1cm³のいくつ分」という表し方の良さに気付きました。次は、この気付きから体積を求める公式の学習に展開します。

将来、もしも公式を忘れたとしても、この授業のことを思い出せば、きっと答えを求めることができるはず！

学校ではこれからも、実感を伴う「できた！分かった！」を積み重ねていきます。